

文化振興計画 事業評価シート

事業名		入江泰吉旧居 普及事業		担当課 施設名	(入江泰吉旧居)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(18) -①	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・継続	事業開始年	平成26年度	実施回数	1	
日時	通年			会場	入江泰吉旧居	
目的	「入江泰吉旧居」は、入江が戦後から亡くなるまで暮らした場所であり、大和路撮影の拠点でした（平成12年、入江夫人は奈良市へ寄贈）。この旧居を奈良市の大切な財産として、写真家・入江泰吉の人となりを紹介するとともに、新たな文化創造の空間として活用し、文化振興に寄与する。 （※平成27年3月1日 開館）					
内容	当財団とNPO文化創造アルカと協働し旧居の管理と事業を展開。来訪者に入江泰吉の人となりを紹介するとともに奈良の魅力伝える講座やイベント等を実施。平成27年度の入館者数＝12,950人（平成27年3月含む） 催事の開催回数14回 参加人数1,983人					
事業費（円）						
予算	市費 （一般財源 ・指定管理料等）	10,500,000	その他収入 （受益者負担 ・事業収入等）	10,000	支出	10,510,000
決算	市費 （一般財源 ・指定管理料等）	10,500,000	その他収入 （受益者負担 ・事業収入等）	103,606	支出	9,634,809
事業成果						
アンケート等実施の有無 （アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入）				無		
指標			評価 （10点満点）	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		8	目標設定人数が約2万人であったが、残念ながら届かなかった。		
	参加者満足度		8	訪れた方や講座参加者の声としては、概ね好評であった。		
	市民参画・協働の成果はあったか		7	開館1年目ということもあり、手探りの中での事業展開であった。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		8	写真美術館と連携しながら、イベント等を実施。		
	ターゲットは適切に絞れたか		8	入江ファンや奈良が好きな方が全国各地から来館している。		
総合評価（自動計算）			8			
参加者や協働相手からの意見			参加者、来館者からは、公開を待ち望んでいたといった声が多く閑静な住まいに感動している方が多かった。 運営、管理することにいたっては、初年度のこともあり模索しながら講座、イベント内容や組織体制等、協議を重ねた。今後も入江ファンだけではなく、地元の市民や観光客らに愛される施設として、議論を重ねつとめていく予定。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	開館初年は、マスコミ等に取り上げられ話題の1年であった。講座、イベントについても、NPOと協働しながら手探りの状況下で、入江の人となりや奈良の魅力を発信できたのではと思われる。目標人数には、届かなかったが、来館者からは好評であり、引き続き次年度へつなげていきたい。			初年度、1年目は話題性もあり、そこそこに見込めたが、2年目となると、来館者や参加者等の人数は厳しくなると思われる。よって更なる講座やイベントの充実をはかるとともに、入江ファンだけではなく、奈良愛好者や外国人観光客らも取りみ多くの方が訪れるよう周知につとめたい。		